



2月6日～22日ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック
3月6日～15日ミラノ・コルティナ2026冬季パラリンピック
開催!



イタリア北部の都市「ミラノ」と「コルティナ・ダンペッツォ」において、2月に冬季オリンピック、3月に冬季パラリンピックが開催されます。これにちなんで、オリンピック開催期間中の2月17日の給食で、イタリアにちなんだ料理を提供します♪

ここでは、給食に登場するイタリア料理や特徴的な食材を紹介します👉

「イタリア国旗」



緑 白 赤

「フォカッチャ」

フォカッチャは、イタリア発祥の平たいパンで、オリーブオイルをたっぷり使ったシンプルな材料で作られ、表面に指でくぼみをつけて焼くのが特徴です。古代ローマ時代から続く歴史を持ち、ピザの原型とも言われます。給食では、宮城県産米粉を使った、もちもちした食感のフォカッチャを提供します。



「リボリータ」

イタリア・トスカーナ地方の伝統的な煮込み料理です。イタリア語で「再び煮込んだもの」という意味があり、余った野菜や豆、硬くなったパンを加えて煮込むのが特徴のスープです。寒い季節に体が温まる料理として親しまれ、よく煮込むことで、食材のうまみを感じられる料理です。

松島中1年生の献立づくりの授業で、「イタリア栄養定食」のテーマで考えてくれた生徒が選んだ料理を採用しました!

「ジェノバソース」

イタリア料理では、素材の味を生かすために、オリーブオイルやハーブの香りを活用します。ジェノバソースは、イタリアの港湾都市「ジェノバ」発祥のソースで、オリーブオイル、バジルペースト、にんにくなどを混ぜ合わせたものです。

「パンナコッタ」

北イタリア発祥の伝統的なデザートで、イタリア語で「煮詰めたクリーム」という意味があります。生クリームや牛乳を温めて砂糖やゼラチンを加え、冷やし固めて作られます。給食では、アレルギーの人でも食べられるように、牛乳のかわりに豆乳を使ったデザートを提供します。

「ニョッキ」

イタリア発祥のパスタの一種で、じゃがいもと小麦粉をねり合わせて作られる団子状のパスタです。もちもちとした食感と、じゃがいものやさしい風味が特徴です。イタリアでは、「木曜日はニョッキ」という習慣があり、クリームとチーズで煮込んだり、トマト味で煮込んだりして味付けを変えて毎週楽しむそうです。

献立に関心を持とう!

松島中1年生家庭科「献立づくり」より
2月に登場する献立は・・・

美味しく体力アップ定食～お肉で午後も乗り切ろう!～



栄養バランスのとれた献立を考える授業で、個人ごとにテーマを決めて、昼食の献立を考えました。その中から、12月から2月までに、月に一つずつ給食に採用してきましたが、今回が最終回です!

この献立を採用した理由

テーマの通り、ちょっと疲れがちな午後、元気に乗り切れそうな献立です。とんかつの原料の豚肉には、疲労回復に効果のあるビタミンB1や、体力アップにつながるたんぱく質、脂質が豊富です。おいしくて、多くの人が好きなとんかつやフルーツを、バランス良く組み合わせましたので採用しました!



1年の幸福を願う「節分」の行事



2月3日 節分



立春(2月4日)の前日にあたる「節分」には、古くから、豆まきをしたり、ヒラギワシ(ヤイカガシ)を玄関に飾ったりして、病気や災難を起こす「鬼(邪気)」を追い払い、1年の無事や幸福を願う風習があります。最近では、「恵方巻き」が有名になってきましたが、もともと全国的な風習ではなく、江戸時代に大阪の商人が商売繁盛祈願のために行っていた風習が始まりとされています。(※諸説あります)

節分にまつわる食べ物



福豆

よくかんで
食べよう!



大豆をいったもの。豆まきに使うほか、自分の年齢の数、または年齢の数+1の個食べて、1年の幸福を願います。大豆の代わりに落花生を使う地域もあります。

2026年の
恵方は
「南南東」

恵方巻き

太巻きずし。その年の歳神様がいとされる「恵方」を向き、願い事を思い浮かべながら、無言で丸かじりします。



給食では、2月2日から6日の5日間、「大豆の変身」に注目した献立や、2月3日には、鬼が苦手な「いわし」、立春にちなんだ「春色サラダ」、幼稚園には「豆乳プリン」、小中学校には「黒糖福豆」などが登場します♪